

製品安全データシート

作成日 : 2011/12/02

1. 製品及び会社情報

製品の名称 : StayClean-A
製品コード : StayClean-A
会社名 : 株式会社ディスコ
郵便番号 : 143-8580
住所 : 東京都大田区大森北2-13-11
担当部門 : 環境マネジメント室
電話番号 : 03-4590-1083
FAX番号 : 03-4590-1188

推奨用途及び使用上の制限 :
なし

2. 危険有害性の要約

特有の危険有害性 :

GHS分類 : GHS分類基準に該当しない

物理化学的危険性

火薬類 : 分類できない
可燃性／引火性ガス : 分類対象外
可燃性／引火性エアゾール : 分類対象外
支燃性／酸化性ガス : 分類対象外
高压ガス : 分類対象外
引火性液体 : 分類できない
可燃性固体 : 分類対象外
自己反応性化学品 : 分類できない
自然発火性液体 : 分類できない
自然発火性固体 : 分類対象外
自己発熱性化学品 : 分類できない
水反応可燃性化学品 : 分類できない
酸化性液体 : 分類できない
酸化性固体 : 分類対象外
有機過氧化物 : 分類できない
金属腐食性物質 : 分類できない

健康に対する有害性

急性毒性（経口） : 区分外
急性毒性（経皮） : 区分外
急性毒性（吸入：気体） : 分類対象外
急性毒性（吸入：蒸気） : 区分外
急性毒性（吸入：粉塵、ミスト） : 区分外
皮膚腐食性／刺激性 : 分類できない
眼に対する重篤な損傷性／刺激性 : 分類できない
呼吸器感作性 : 区分外
皮膚感作性 : 区分外
生殖細胞変異原性 : 区分外
発がん性 : 分類できない
生殖毒性 : 区分外
特定標的臓器毒性（単回暴露） : 分類できない
特定標的臓器毒性（反復暴露） : 分類できない
吸引性呼吸器有害性 : 分類できない

環境に対する有害性
 水生環境有害性（急性）：分類できない
 水生環境有害性（慢性）：分類できない
 GHSラベルの要素
 絵表示又はシンボル：表示なし
 注意喚起語：注意喚起語なし
 危険有害性情報：危険有害性情報なし
 注意書き
 安全対策：情報なし
 応急措置：情報なし
 保管：情報なし
 廃棄：情報なし
 GHS分類に該当しない：情報は得られていない。
 他の危険有害性
 重要な徴候：特になし
 想定される：特になし
 非常事態の概要

3. 組成及び成分情報

単一物質・混合物の区分：混合物

| 化学名または一般名 | 非イオン界面活性剤 | 水溶性高分子 | pH調製剤 |
|---------------|-----------|-----------|---------|
| CAS番号 | 非公開 | 非公開 | 非公開 |
| 濃度又は濃度範囲(重量%) | 1.0%-5.0% | 1.0%-5.0% | 1.0% |
| 化学式または構造式 | — | — | — |
| PRTR法指定化学物質 | 対象物ではない | 対象物ではない | 対象物ではない |
| 安衛法通知対象物 | 対象物ではない | 対象物ではない | 対象物ではない |

| | |
|---------------|-----------|
| 化学名または一般名 | 水 |
| CAS番号 | 7732-18-5 |
| 濃度又は濃度範囲(重量%) | 89%-97% |
| 化学式または構造式 | H2O |
| PRTR法指定化学物質 | 対象物ではない |
| 安衛法通知対象物 | 対象物ではない |

4. 応急措置

吸入した場合：

- ・被災者を直ちに空気の新鮮な場所へ移動させ、医師の診断を受ける。
- ・呼吸が弱い場合は人工呼吸を行う。

皮膚に付着した場合：

- ・汚染された衣類、靴等を速やかに脱ぎ捨てる。
- ・製品に触れた部分を水又は微温湯を流しながら洗浄する。
- ・石鹼を使ってよく落とす。
- ・外観に変化が見られたり、痛みや刺激が続く場合は直ちに医師の診察を受ける。

目に入った場合：

- ・直ちに清浄な流水で15分以上を洗浄（容易に取り外せる場合はコンタクトレンズも外す）した後、眼科医の手当てを受けること。

飲み込んだ場合：

- ・水でよく口の中を洗浄する。
- ・安静にし、直ちに医師に見せる。
- ・意識のない場合は絶対に吐かせてはならない。

最も重要な兆候及び症状：

- ・情報は得られていない。

応急措置をする者の保護：

- ・救助者は、ゴム手袋、ゴーグル等の適切な保護具を着用する。

医師に対する特別な注意事項：

- ・特別な解毒剤はない。症状に応じて対症的に治療する。
- ・具体的な治療法が明確でない時は、日本中毒情報センター又は大学病院情報センターへ連絡する。

5. 火災時の措置

消火剤：

- ・不燃性のため、該当しない。

使ってはならない消火剤：

- ・不燃性のため、該当しない。

火災時の特有の危険有害性：

- ・燃焼ガスには、一酸化炭素等の有毒ガスが含まれるので、消火作業の際には、煙の吸入を避ける。

特有の消火方法：

- ・関係者以外は安全な場所に退避させる。

消火を行う者の保護：

- ・消火作業では、適切な保護具（手袋、眼鏡、マスク等）を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置：

- ・作業には、必ず保護具（手袋・眼鏡・マスク等）を着用する。
- ・多量の場合、人を安全な場所に退避させる。
- ・必要に応じた換気を確保する。

環境に対する注意事項：

- ・漏出物を河川や下水に直接流してはいけない。

封じ込め及び浄化の方法・機材（回収・中和など）：

- ・少量の場合、吸着剤（土・砂・ウエス等）で吸着させ取り除いた後、残りをウエス、雑巾等よく拭き取る。大量の水で洗い流す。
- ・多量の場合、盛り土で囲って流出を防止し、安全な場所に導いてからドラム等に回収する。

二次災害の防止策：

- ・床に漏れた状態で放置すると、滑り易くスリップ事故の原因となるため注意する。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策：

- ・取扱い場所の近くに、洗眼及び身体洗浄のための設備を設置する。

局所排気・全体換気：

- ・取扱う場合は、局所排気装置内または全体換気の設備のある場所で取り扱う。

注意事項：

- ・局所排気装置等と配管が接続されていることを確認する。

安全取扱い注意事項：

- ・作業場の換気を十分行う。
- ・吸い込んだり、眼、皮膚及び衣類に触れないように適切な保護具を着用し、出来るだけ風上から作業を行う。
- ・取扱い後は、手、顔等をよく洗い、うがいをする。

保管

技術的対策：

- ・保管場所には、必要な採光、照明及び換気の設備を設ける。

適切な保管条件：

- ・通気の良い場所で容器を密閉し保管する。
- ・容器は直射日光を避け、出来る限り室内の涼しい場所に貯蔵する。
- ・酸化剤との接触を避ける。

安全な容器包装材料：

- ・プラスチック製容器（缶、ドラム、コンテナなど）

8. 暴露防止及び保護措置

設備対策：

- ・取扱いについては、出来るだけ密閉された装置、機器を使用する。
- ・蒸気、ヒュームまたはミストが発生する場合は、局所排気、全体換気装置を用いて作業環境を良くする。
- ・取扱場所の近くに洗眼及び身体洗浄を行うための設備を設置する。

管理濃度／許容濃度：

- ・設定されていない。

保護具

呼吸器の保護具：

- ・防毒マスク（有機ガス用）

手の保護具：

- ・保護手袋（不浸透性）

目の保護具：

- ・保護眼鏡（側板付き普通眼鏡型またはゴーグル型）

皮膚及び身体の保護具：

- ・保護服

適切な衛生対策：

- ・特になし。

9. 物理的及び化学的性質

外観

| | |
|------------------|---------|
| 物理的状态： | 液体。 |
| 色： | 淡黄色液状。 |
| 臭い： | 特になし。 |
| pH： | 7.5-9.5 |
| 融点／凝固点： | -9[°C] |
| 沸点と沸騰範囲： | データなし。 |
| 初留点： | データなし。 |
| 引火点： | 測定されない。 |
| 自然発火温度（発火点）： | データなし。 |
| 燃焼性（固体、ガス）： | データなし。 |
| 燃焼または爆発範囲の上限／下限： | データなし。 |
| 蒸気圧： | データなし。 |

| | |
|---------------|------------------|
| 蒸気密度： | データなし。 |
| 蒸発速度： | データなし。 |
| 比重（相対密度）： | 1.01 (25°C) |
| 溶解性： | |
| 水に対する溶解度： | データなし。 |
| 水に対する溶解性： | 易溶。 |
| 溶媒に対する溶解度： | データなし。 |
| 溶媒に対する溶解性： | データなし。 |
| オクタノール／水分配係数： | データなし。 |
| 分解温度： | データなし。 |
| その他のデータ： | 粘度 2mPa・s (25°C) |

10. 安定性及び反応性

- 安定性：
- ・ 通常の使用条件で安定。
- 危険有害反応可能性：
- ・ 自己反応性なし。
- 避けるべき条件：
- ・ 水分が蒸発するような高温状態。
- 混触危険物質：
- ・ 強塩基（強アルカリ）類
 - ・ 強酸類
 - ・ 酸化性物質（酸化剤）
 - ・ 過酸化物
- 危険有害な分解生成物：
- ・ 一酸化炭素
 - ・ 窒素酸化物
- その他：
- ・ 情報は得られていない。

11. 有害性情報

- 急性毒性：
- ・ 情報は得られていない。
- 皮膚腐食性／刺激性：
- ・ 情報は得られていない。
- 眼に対する重篤な損傷／刺激性：
- ・ 情報は得られていない。
- 呼吸器感作性：
- ・ 情報は得られていない。
- 皮膚感作性：
- ・ 情報は得られていない。
- 生殖細胞変異原性（変異原性）：
- ・ 情報は得られていない。
- 発がん性：
- ・ 情報は得られていない。
- 生殖毒性：
- ・ 情報は得られていない。

特定標的臓器毒性（単回暴露）：

- ・情報は得られていない。

特定標的臓器毒性（反復暴露）：

- ・情報は得られていない。

吸引性呼吸器有害性：

- ・情報は得られていない。

その他：

- ・情報は得られていない。

1 2. 環境影響情報

生態毒性：

- ・情報は得られていない。

残留性／分解性：

- ・情報は得られていない。

生体蓄積性：

- ・情報は得られていない。

土壌中の移動性：

- ・情報は得られていない。

他の有害影響：

- ・BOD 62mg/l (0.1%水溶液)
- ・COD 56mg/l (0.1%水溶液)

1 3. 廃棄上の注意

残余廃棄物：

- ・焼却する場合、関連法規・法令を遵守する。
- ・廃棄する場合、都道府県知事の許可を受けた産業廃棄物の収集運搬業者や処分業者と契約し、廃棄物処理法（廃棄物の処理及び清掃に関する法律）及び関係法規・法令を遵守し、適正に処理する。

空の汚染容器・包装の廃棄方法：

- ・空の汚染容器・包装材料を廃棄する場合、内容物を除去した後に、都道府県知事の許可を受けた産業廃棄物の収集運搬業者や処分業者と契約し、廃棄物処理法（廃棄物の処理及び清掃に関する法律）及び関係法規・法令を遵守し、適正に処理する。

1 4. 輸送上の注意

国際規制

国連分類：

国連の分類基準では危険物に該当しない。

海洋汚染物質：

該当しない。

国内規制

陸上輸送：

- ・消防法、高圧ガス保安法、毒劇物取締法、道路法などに定められる運送方法に従う。
- ・積み重ねは3m以下とし、容器の漏れ、破損のない事を確認し、転倒、落下等がないように積み込み、荷崩れ防止を確実にを行う。

海上輸送：

船舶安全法に定められている運送方法に従う。

航空輸送：

航空法に定められている運送方法に従う。

輸送の特定の
安全対策及び条件

移動時の容器温度は40℃以下に保ち、特に夏場はシートをかけて温度上昇の防止に努める。
また、充填容器に衝撃が加わらないように、注意深く取り扱うこと。

15. 適用法令

国内法令：

- ・ 消防法：非危険物
- ・ 労働安全衛生法：エポキシ樹脂の硬化剤による健康障害防止のための基準：該当しない。
- ・ 海洋汚染防止法：未査定物質
- ・ 外国為替及び外国貿易管理法：輸出貿易管理令 キャッチオール規制：該当する

海外登録情報：

- ・ TSCA(アメリカ)：収載
- ・ REACH(EU)：別途お問合せ下さい。
- ・ CEPA(カナダ)：DSL収載
- ・ AICS(オーストラリア)：収載
- ・ ECL(韓国)：収載
- ・ IECSC(中国)：収載
- ・ PICCS(フィリピン)：収載

16. その他の情報

引用文献：

- ・ 厚生労働省 作業環境評価基準（平成21年3月31日 告示第195号）
- ・ 許容濃度等の勧告 日本産業衛生学会（2009）
- ・ Threshold limit values for chemical substances and physical agents and biological exposure indices ACGIH（2010）
- ・ 感作性物質の指定〔労働基準法施行規則の規定に基づき労働大臣が指定する単体たる化学物質及び化合物に係る労働衛生対策について〕（労働省労働基準局長通達平成8年3月29日付け基発第182号）
- ・ IARC Monographs on the Evaluation of Carcinogenic Risk of Chemicals to Humans. vol. 1-100A
- ・ Registry of Toxic Effects of Chemical Substances（RTECS, 2009）
- ・ 変異原性が認められた化学物質等の取扱いについて（厚生労働省労働基準局長通達平成22年6月28日付け基発0628第3号まで調査）
- ・ エポキシ樹脂の硬化剤による健康障害防止のための基準（労働省労働基準局長通達昭和51年6月5日付け基発第477号）

その他：

- ・ この情報は新しい知見及び試験等により改定されることがあります。
- ・ 本文書の記載内容は、当社の最善の知見に基づくものですが、情報の正確さ、安全性を保障するものではありません。
- ・ すべての化学品には未知の有害性がありうるため、取り扱いには細心の注意が必要です。
- ・ ご使用者各位の責任において、安全な使用条件を設定くださるようお願い申し上げます。